



なかしん

景況レポート



2018年 冬
中兵庫信用金庫

No.136

経営企画部

第 136 回 なかしん中小企業景気動向調査

(平成 30 年 12 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、平成 30 年 12 月を調査時点とする平成 30 年度第 3 四半期(平成 30 年 10 月～12 月)実績(12 月は予想)、及び平成 30 年度第 4 四半期(平成 31 年 1 月～3 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	平成 30 年 12 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	427 先
有効回答数	425 先 (回答率 99.5%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index、略して DI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	107	106
卸売業	36	35
小売業	106	106
サービス業	68	68
建設業	77	77
不動産業	33	33
合計	427	425

[調査地域]

丹波市・篠山市・三田市
西脇市・多可郡・加東市
三木市・小野市
神戸市北区・西宮市北部
福知山市

連絡先 〒669-1321 三田市けやき台 1-4-3 ☎ 079-569-7153

中兵庫信用金庫 経営企画部 広報課

I. 今期景況の実績について

1. 総合的景況判断

○平成30年12月期業況判断指数

項目 分類	① H30年9月期	② H30年12月期	②-① 増減	H31年3月期 予想
製造業	0.9	10.4	9.5	△4.7
非製造業	△14.2	△14.1	0.1	△14.5
全業種	△10.4	△7.8	2.6	△11.9

○前回調査比

今期（平成30年10月～12月期）の景況をみると、業況DIは製造業では9.5ポイント増加し、非製造業で0.1ポイント増加した。全体では2.6ポイント増加し△7.8と改善した。

業種別でみると、製造業で9.5ポイント、建設業で6.7ポイント、卸売業で5.3ポイント、サービス業で4.5ポイント増加したが、小売業で8.3ポイント、不動産業で0.5ポイント減少した。

○前年同期比

前年同期比では全体で5.0ポイント減少した。

業種別でみると、サービス業で8.0ポイント、製造業で2.8ポイント増加したが、小売業で25.6ポイント、建設業で2.4ポイント、不動産業で0.5ポイント、卸売業で0.3ポイント減少した。

（9ページ参照）

○次期予想

次期予想については、今回調査比では不動産業で9.6ポイント、サービス業で7.4ポイント、建設業で1.3ポイント増加予想であるが、製造業で15.1ポイント、小売業で7.9ポイント、卸売業で5.9ポイント減少の予想となり、全体では4.1ポイント悪化する見通しである。

（9ページ参照）

業種別業況判断

① 製造業

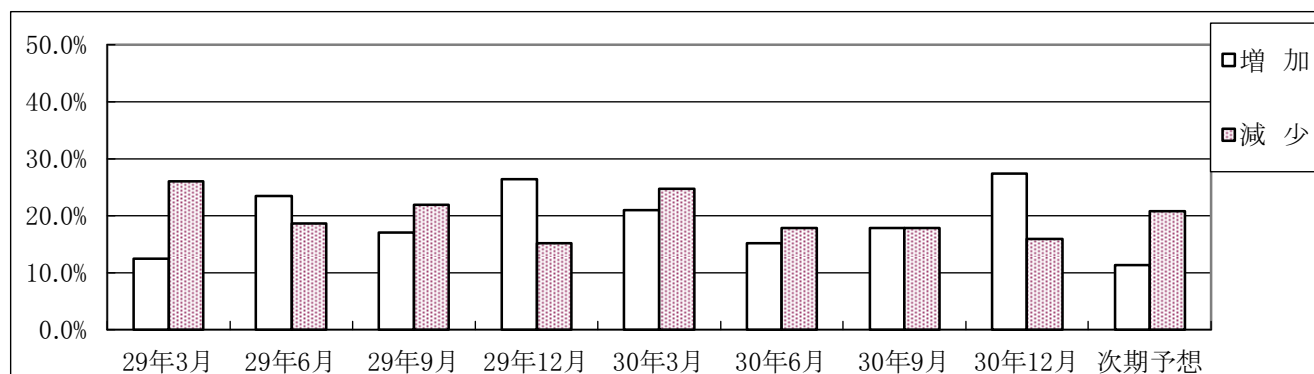
業況DIは前回調査より9.5ポイント増加し10.4、生産販売DIは11.4ポイント増加し11.4と改善、収益DIも9.4ポイント増加し7.5と改善した。

次期予想では、業況DIは15.1ポイント減少し△4.7、生産販売DIは20.9ポイント減少し△9.5、収益DIも16.0ポイント減少し△8.5と全てにおいて悪化見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

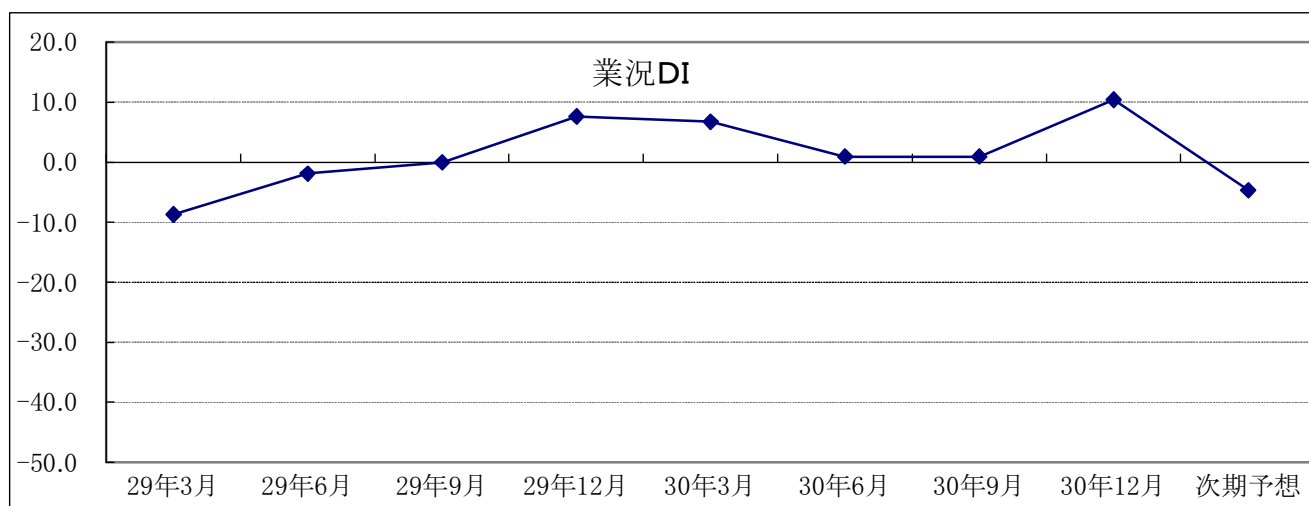
売上増減企業数の推移

	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
増加	12.5%	23.5%	17.1%	26.4%	21.0%	15.1%	17.9%	27.4%	11.3%
減少	26.0%	18.6%	21.9%	15.1%	24.8%	17.9%	17.9%	16.0%	20.8%
DI	△13.5	4.9	△4.8	11.3	△3.8	△2.8	0.0	11.4	△9.5



業況DIの推移

年月	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
業況DI	△8.7	△1.9	0.0	7.6	6.7	0.9	0.9	10.4	△4.7



② 卸売業

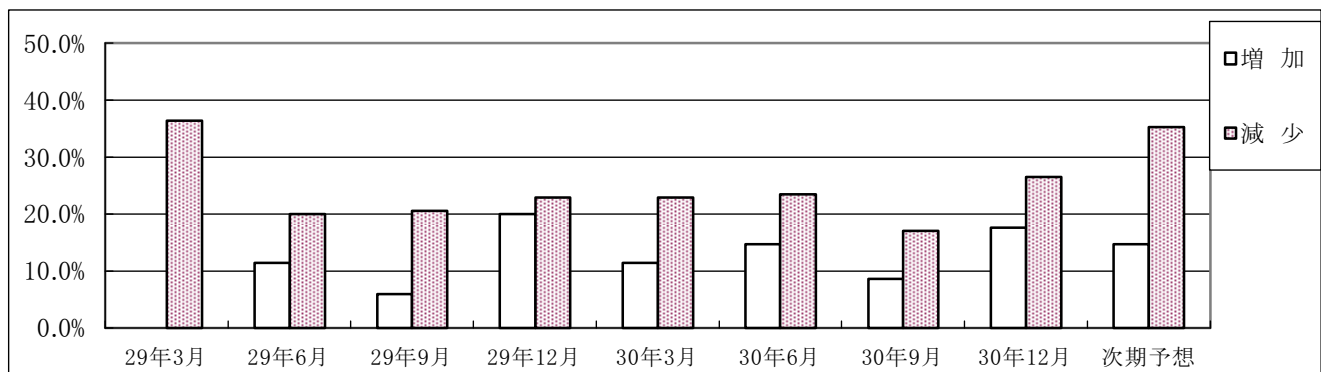
業況D Iは前回調査より5.3 ㊦増加し△11.8と改善、生産販売D Iは0.4 ㊦減少し△8.9と悪化、収益D Iは8.4 ㊦増加し△5.9と改善した。

次期予想については、業況D Iは5.9 ㊦減少し△17.7、生産販売D Iは11.7 ㊦減少し△20.6、収益D Iも11.8 ㊦減少し△17.7と全てにおいて悪化見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

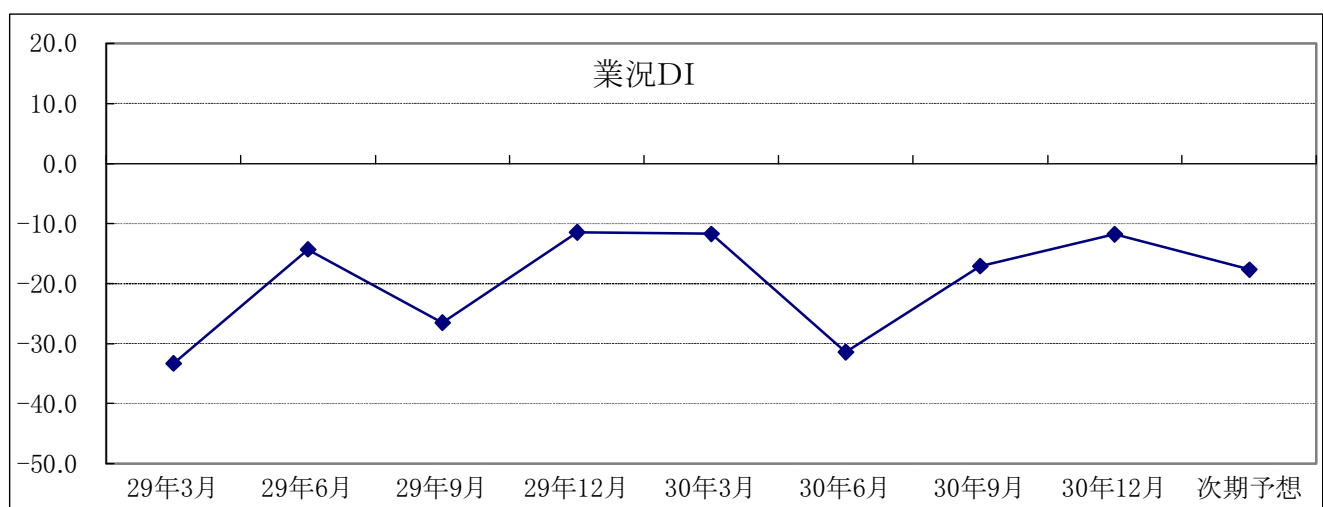
売上増減企業数の推移

	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
増加	0.0%	11.4%	5.9%	20.0%	11.4%	14.7%	8.6%	17.6%	14.7%
減少	36.4%	20.0%	20.6%	22.9%	22.9%	23.5%	17.1%	26.5%	35.3%
DI	△ 36.4	△ 8.6	△ 14.7	△ 2.9	△ 11.5	△ 8.8	△ 8.5	△ 8.9	△ 20.6



業況DIの推移

年月	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
業況DI	△ 33.3	△ 14.3	△ 26.5	△ 11.5	△ 11.7	△ 31.4	△ 17.1	△ 11.8	△ 17.7



③ 小売業

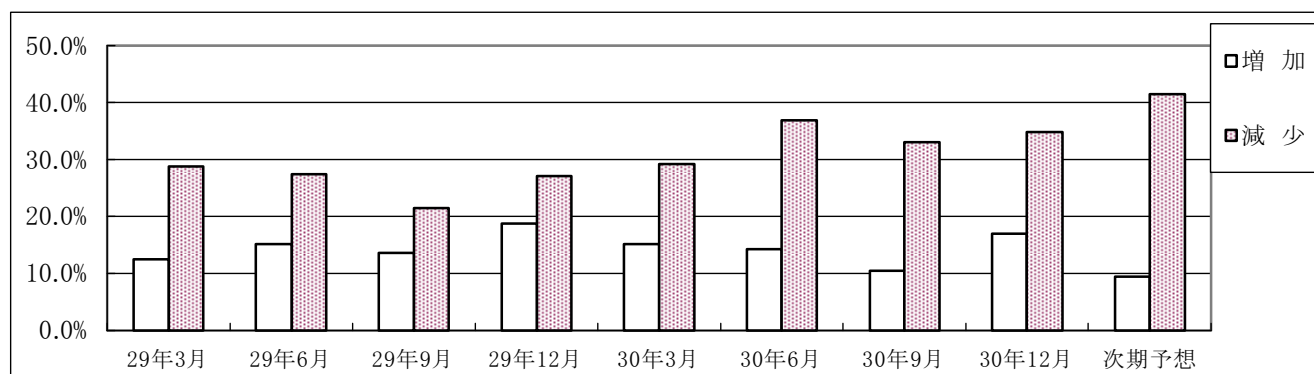
業況DIは前回調査より8.3ポイント減少し△34.0と悪化したが、生産販売DIは4.7ポイント増加し△17.9、収益DIは4.6ポイント増加し△16.1と改善した。

次期予想は、業況DIは7.9ポイント減少し△41.9、生産販売DIは14.2ポイント減少し△32.1、収益DIも10.3ポイント減少の△26.4と全てにおいて悪化見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

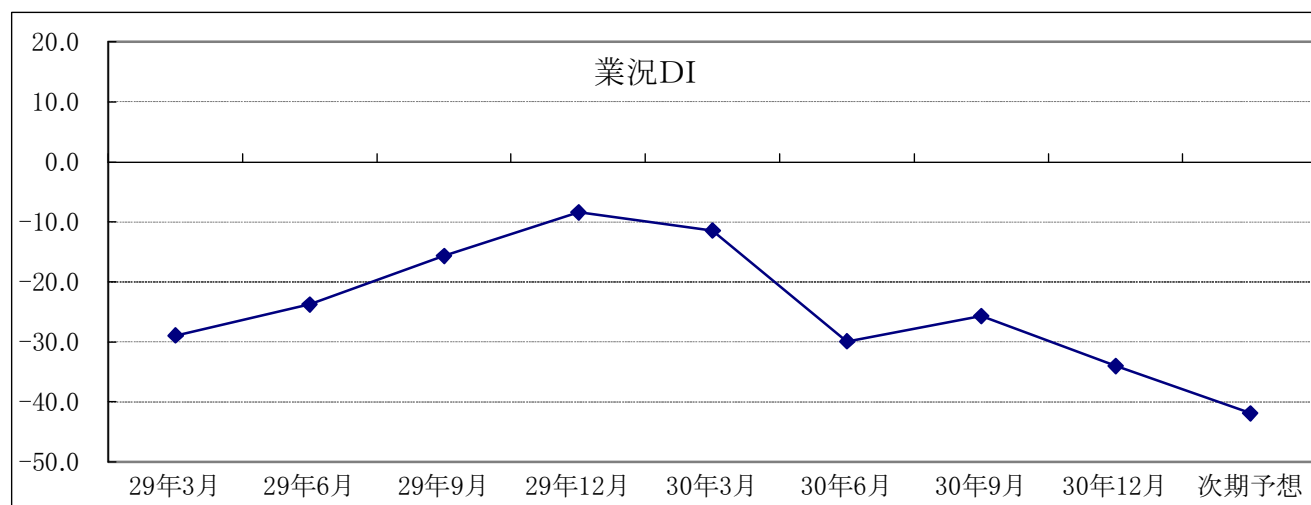
売上増減企業数の推移

	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
増加	12.5%	15.1%	13.6%	18.7%	15.1%	14.2%	10.4%	17.0%	9.4%
減少	28.8%	27.4%	21.4%	27.1%	29.2%	36.8%	33.0%	34.9%	41.5%
DI	△16.3	△12.3	△7.8	△8.4	△14.1	△22.6	△22.6	△17.9	△32.1



業況DIの推移

年月	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
業況DI	△28.9	△23.8	△15.7	△8.4	△11.4	△29.9	△25.7	△34.0	△41.9



④ サービス業

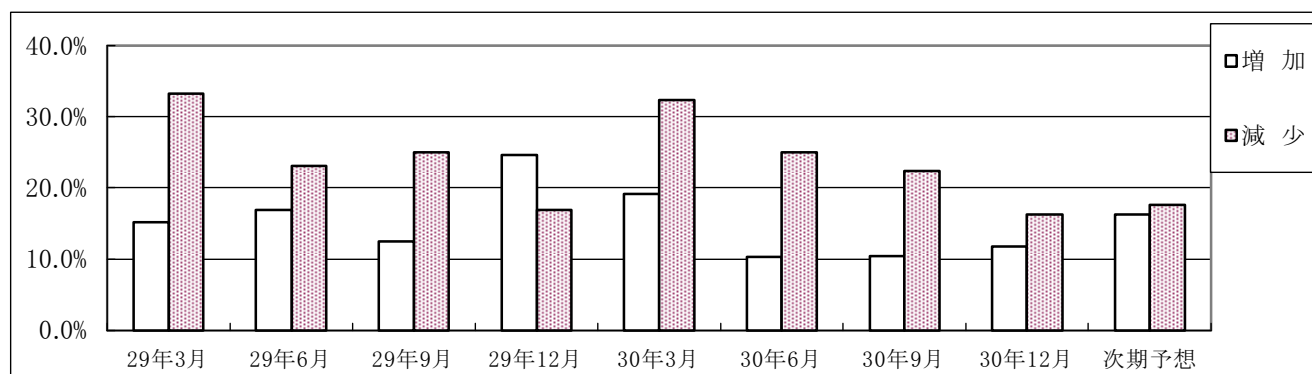
業況D Iは前回調査より 4.5 ㊦増加し△8.9、生産販売D Iは 7.6 ㊦増加し△4.4、収益D Iも 9.0 ㊦増加し△4.4 と全てにおいて改善した。

次期予想では、業況D Iは 7.4 ㊦増加し△1.5、生産販売D Iは 3.0 ㊦増加し△1.4、収益D Iも 2.9 ㊦増加し△1.5 と全てにおいて改善見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

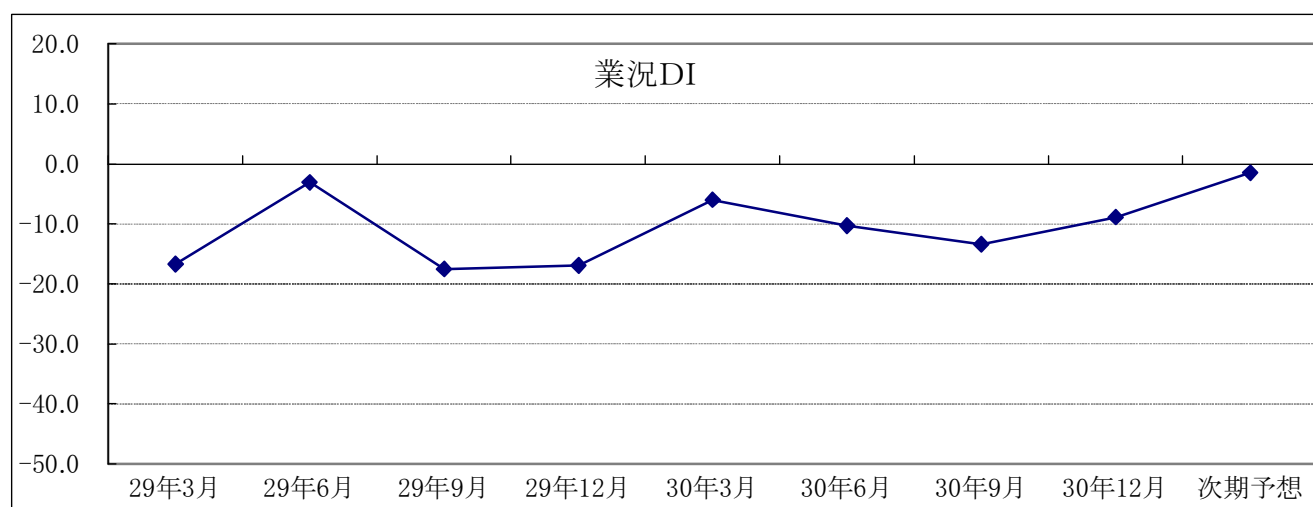
売上増減企業数の推移

	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
増加	15.2%	16.9%	12.5%	24.6%	19.1%	10.3%	10.4%	11.8%	16.2%
減少	33.3%	23.1%	25.0%	16.9%	32.4%	25.0%	22.4%	16.2%	17.6%
D I	△ 18.1	△ 6.2	△ 12.5	7.7	△ 13.3	△ 14.7	△ 12.0	△ 4.4	△ 1.4



業況DIの推移

年月	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
業況DI	△ 16.7	△ 3.1	△ 17.5	△ 16.9	△ 6.0	△ 10.3	△ 13.4	△ 8.9	△ 1.5



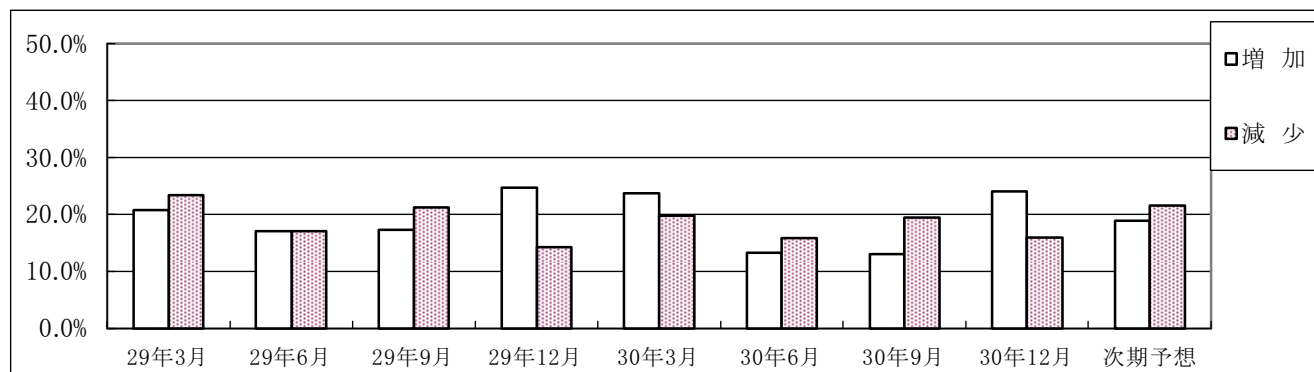
⑤ 建設業

業況DIは前回調査より6.7ポイント増加し6.7、生産販売DIは14.5ポイント増加し8.0、収益DIも11.9ポイント増加し6.7とそれぞれ改善した。

次期予想は、業況DIは1.3ポイント増加し8.0と改善見通しであるが、生産販売DIは10.7ポイント減少し△2.7、収益DIは8.0ポイント減少し△1.3とそれぞれ悪化する見通しである。
(9・10・11・18 ページ参照)

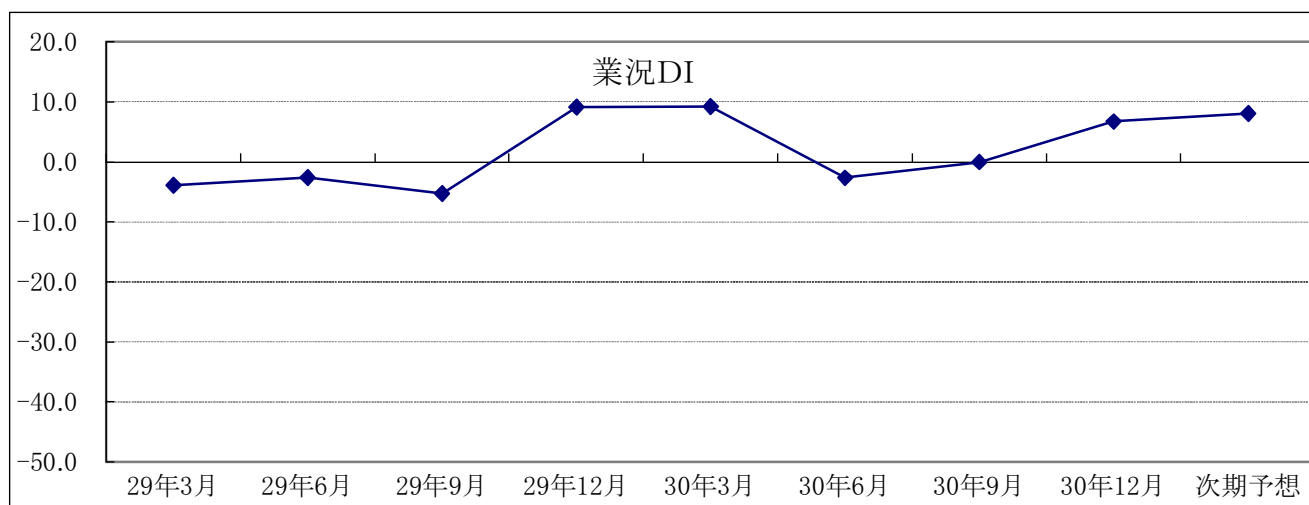
売上増減企業数の推移

	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
増加	20.8%	17.1%	17.3%	24.7%	23.7%	13.2%	13.0%	24.0%	18.9%
減少	23.4%	17.1%	21.3%	14.3%	19.7%	15.8%	19.5%	16.0%	21.6%
DI	△2.6	0.0	△4.0	10.4	4.0	△2.6	△6.5	8.0	△2.7



業況DIの推移

年月	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
業況DI	△3.9	△2.6	△5.3	9.1	9.2	△2.7	0.0	6.7	8.0



⑥ 不動産業

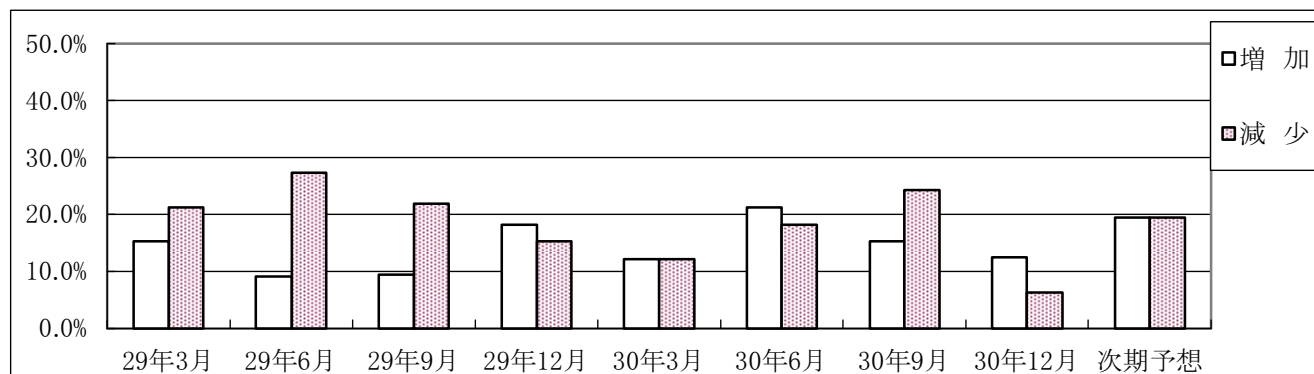
業況DIは前回調査より0.5ポイント減少し△9.6と悪化したが、生産販売DIは15.3ポイント増加し6.3、収益DIも12.1ポイント増加し3.1と改善した。

次期予想では、業況DIは9.6ポイント増加し0.0と改善見通しであるが、生産販売DIは6.3ポイント減少し0.0、収益DIも6.3ポイント減少し△3.2と悪化見通しである。

(9・10・11・18 ページ参照)

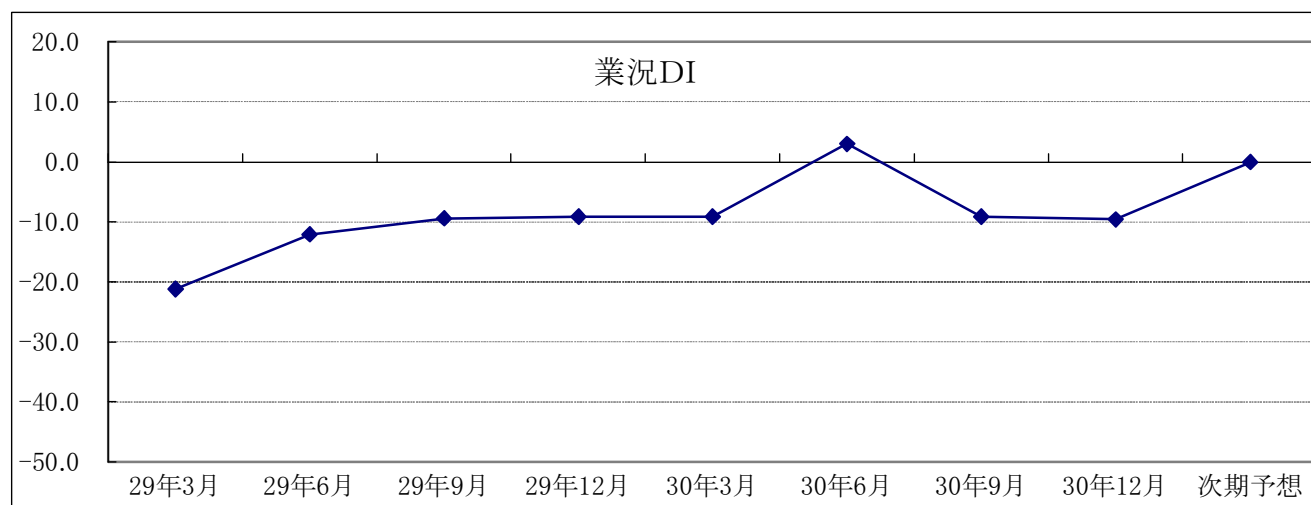
売上増減企業数の推移

	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
増加	15.2%	9.1%	9.4%	18.2%	12.1%	21.2%	15.2%	12.5%	19.4%
減少	21.2%	27.3%	21.9%	15.2%	12.1%	18.2%	24.2%	6.3%	19.4%
DI	△ 6.0	△ 18.2	△ 12.5	3.0	0.0	3.0	△ 9.0	6.3	0.0



業況DIの推移

年月	29年3月	29年6月	29年9月	29年12月	30年3月	30年6月	30年9月	30年12月	次期予想
業況DI	△ 21.2	△ 12.1	△ 9.4	△ 9.1	△ 9.1	3.0	△ 9.1	△ 9.6	0.0

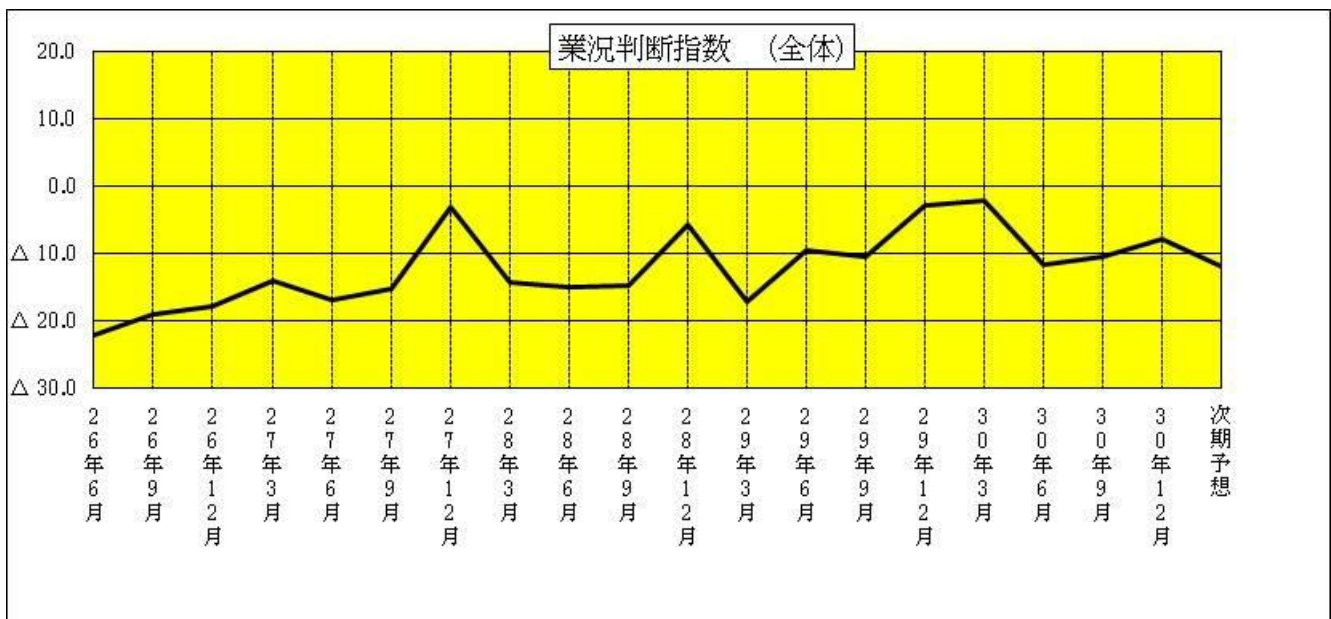


業況の推移

変 動		良い	普通	悪い	D I
調査時点		A	B	C	(A-C)
平成29年	10～12月	18.0	61.2	20.8	△ 2.8
平成30年	1～3月	18.3	61.2	20.5	△ 2.2
平成30年	4～6月	10.4	67.6	22.0	△ 11.6
平成30年	7～9月	12.8	64.0	23.2	△ 10.4
平成30年	10～12月	14.6	63.0	22.4	△ 7.8
見通し	1～3月	12.0	64.1	23.9	△ 11.9

業種別業況(平成30年10月～12月)

業 種	変 動		悪い	D I	前回調査	前年同期	次回予想
	良い	普通					
	A	B	C	(A-C)	D I	D I	D I
製 造 業	23.6	63.2	13.2	10.4	0.9	7.6	△ 4.7
非 製 造 業	11.5	62.9	25.6	△ 14.1	△ 14.2	△ 6.3	△ 14.5
(卸売業)	17.6	53.0	29.4	△ 11.8	△ 17.1	△ 11.5	△ 17.7
(小売業)	6.6	52.8	40.6	△ 34.0	△ 25.7	△ 8.4	△ 41.9
(サービス業)	9.0	73.1	17.9	△ 8.9	△ 13.4	△ 16.9	△ 1.5
(建設業)	20.0	66.7	13.3	6.7	0.0	9.1	8.0
(不動産業)	6.5	77.4	16.1	△ 9.6	△ 9.1	△ 9.1	0.0
全 体	14.6	63.0	22.4	△ 7.8	△ 10.4	△ 2.8	△ 11.9



2. 生産・販売状況

生産・販売状況は前回に比べ「増加した」とする企業は6.7割増加、「減少した」とする企業は2.2割減少し、D Iは全体で8.9割増加し△1.2と改善した。

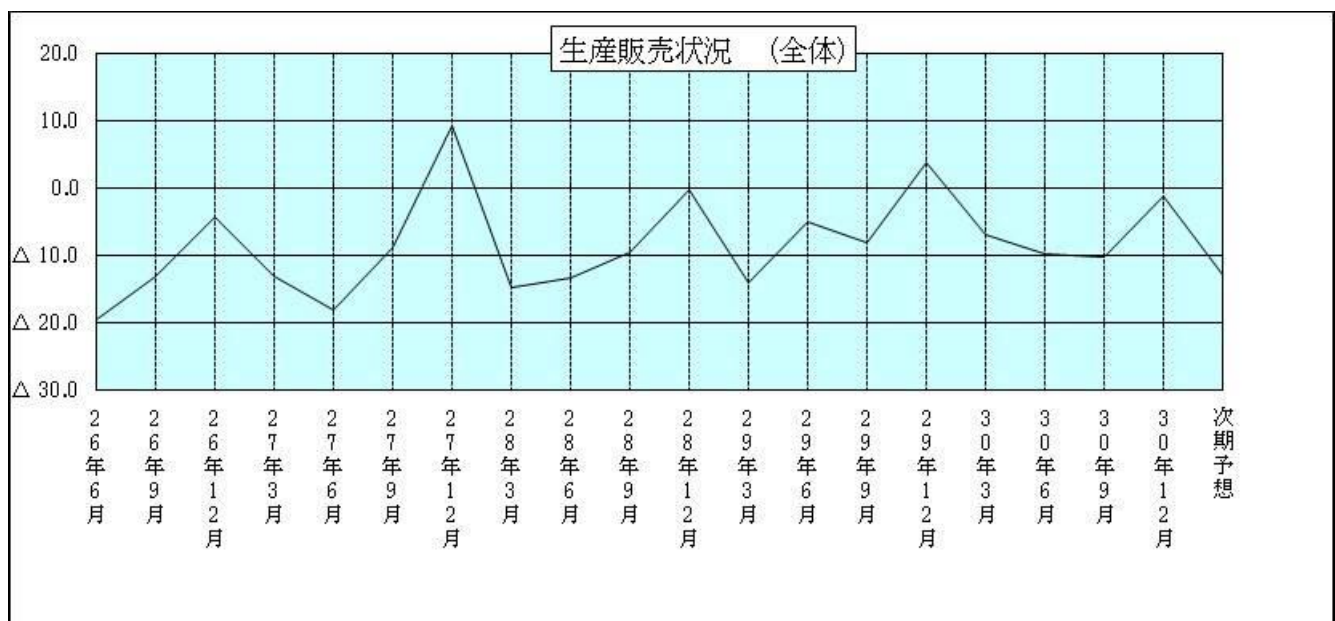
次回予想D Iは全体で11.7割減少し、△12.9と悪化する見通しである。

生産・販売状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	22.7	58.4	18.9	3.8
平成30年	1～3月	18.2	56.7	25.1	△ 6.9
平成30年	4～6月	14.2	61.9	23.9	△ 9.7
平成30年	7～9月	13.0	63.9	23.1	△ 10.1
平成30年	10～12月	19.7	59.4	20.9	△ 1.2
見通し	1～3月	13.8	59.5	26.7	△ 12.9

業種別生産・販売状況(平成30年10月～12月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		27.4	56.6	16.0	11.4	0.0	△ 9.5
卸売業		17.6	55.9	26.5	△ 8.9	△ 8.5	△ 20.6
小売業		17.0	48.1	34.9	△ 17.9	△ 22.6	△ 32.1
サービス業		11.8	72.0	16.2	△ 4.4	△ 12.0	△ 1.4
建設業		24.0	60.0	16.0	8.0	△ 6.5	△ 2.7
不動産業		12.5	81.3	6.3	6.3	△ 9.0	0.0
全体		19.7	59.4	20.9	△ 1.2	△ 10.1	△ 12.9



3. 収益状況

前回に比べ、収益が「増加した」とする企業が 5.5 ㊦増加、「減少した」とする企業は 3.2 ㊦減少し、D I は全体で 8.7 ㊦増加し△1.9 と改善した。

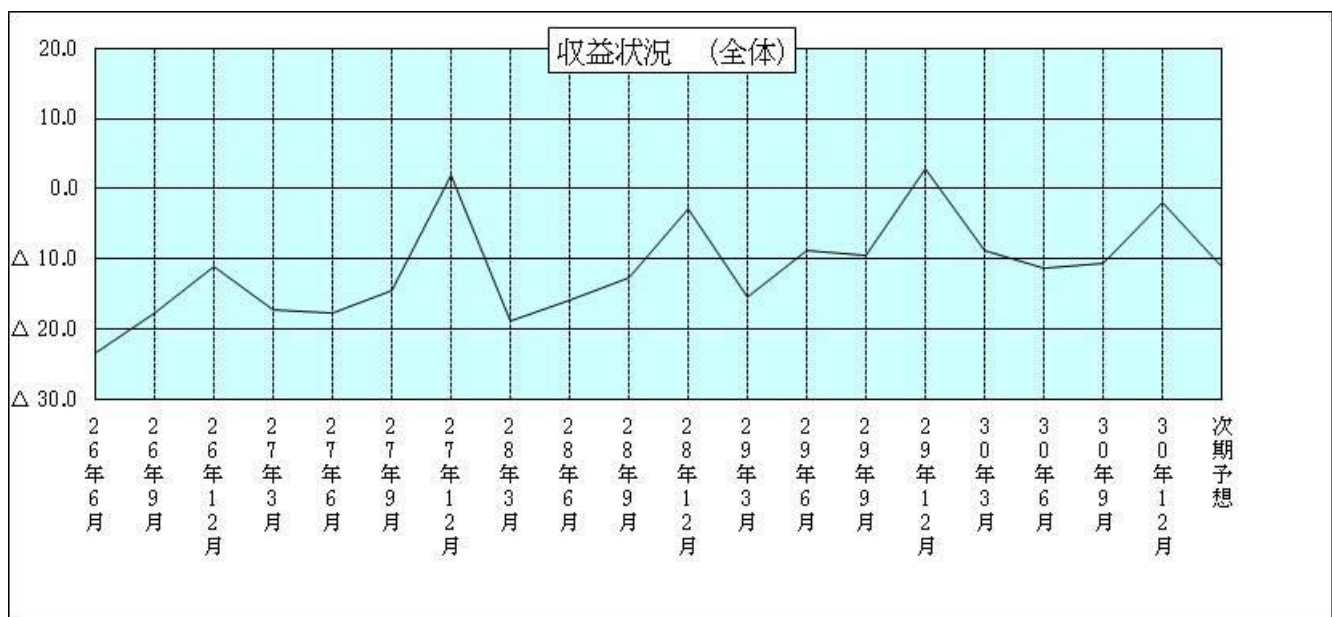
次回予想D I は 9.1 ㊦減少し、△11.0 と悪化する見通しである。

収益状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	20.8	61.2	18.0	2.8
平成30年	1～3月	16.5	58.3	25.2	△ 8.7
平成30年	4～6月	13.2	62.2	24.6	△ 11.4
平成30年	7～9月	12.3	64.8	22.9	△ 10.6
平成30年	10～12月	17.8	62.5	19.7	△ 1.9
見通し	1～3月	11.7	65.6	22.7	△ 11.0

業種別収益状況(平成30年10月～12月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		22.6	62.3	15.1	7.5	△ 1.9	△ 8.5
卸売業		17.6	58.9	23.5	△ 5.9	△ 14.3	△ 17.7
小売業		16.0	51.9	32.1	△ 16.1	△ 20.7	△ 26.4
サービス業		11.8	72.0	16.2	△ 4.4	△ 13.4	△ 1.5
建設業		20.0	66.7	13.3	6.7	△ 5.2	△ 1.3
不動産業		15.6	71.9	12.5	3.1	△ 9.0	△ 3.2
全体		17.8	62.5	19.7	△ 1.9	△ 10.6	△ 11.0



4. 在庫・販売価格・資金繰り状況

○在庫

前回調査に比べ、在庫状況は「過剰」とする企業が1.4 ㊦減少、「不足」とする企業は2.3 ㊦増加し、D Iは全体で3.7 ㊦減少し△2.0 となった。

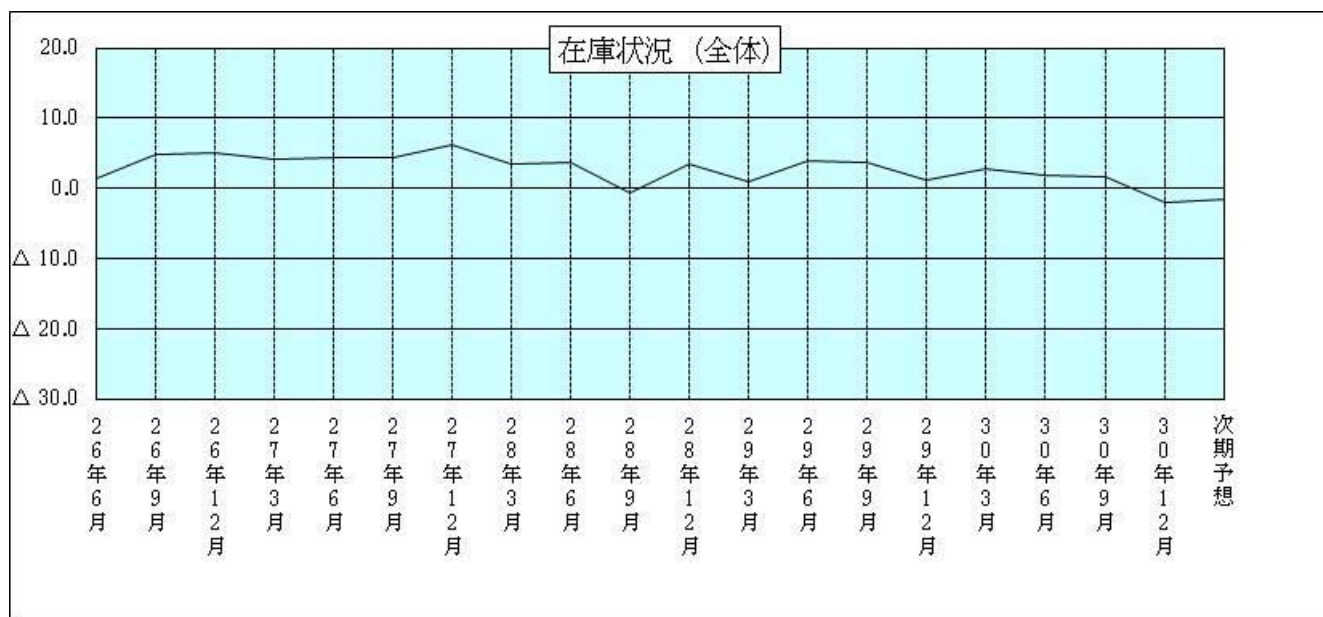
次回予想D Iは、0.5 ㊦増加し△1.5 と適正化に向かっている。

在庫状況の推移

調査時点	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	8.7	83.8	7.5	1.2
平成30年	1～3月	8.4	86.0	5.6	2.8
平成30年	4～6月	7.6	86.7	5.7	1.9
平成30年	7～9月	7.3	87.1	5.6	1.7
平成30年	10～12月	5.9	86.2	7.9	△ 2.0
見通し	1～3月	5.4	87.7	6.9	△ 1.5

業種別在庫状況(平成30年10月～12月)

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		4.7	87.8	7.5	△ 2.8	2.8	△ 1.0
卸売業		0.0	91.2	8.8	△ 8.8	0.0	△ 5.9
小売業		12.3	80.2	7.5	4.8	5.6	2.8
建設業		1.3	90.7	8.0	△ 6.7	1.3	△ 5.4
不動産業		6.3	84.3	9.4	△ 3.1	△ 12.2	△ 3.2
全体		5.9	86.2	7.9	△ 2.0	1.7	△ 1.5



○販売価格

販売価格は「上昇した」とする企業は0.6 ㊦増加、「下降した」とする企業は1.6 ㊦減少
 少しD Iは全体で2.2 ㊦増加し3.1と上昇した。

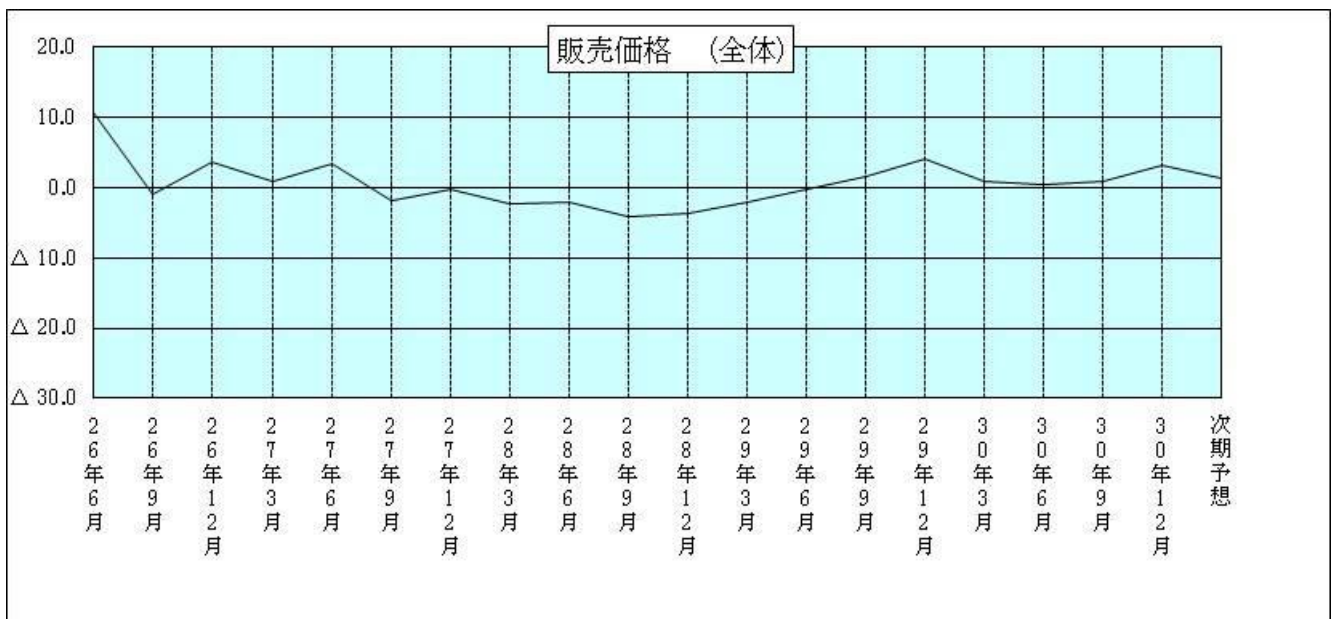
次回予想D Iは、1.7 ㊦減少し1.4と下降する見通しである。

販売価格の推移

調査時点	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	6.9	90.3	2.8	4.1
平成30年	1～3月	7.8	85.3	6.9	0.9
平成30年	4～6月	6.2	88.1	5.7	0.5
平成30年	7～9月	6.8	87.3	5.9	0.9
平成30年	10～12月	7.4	88.3	4.3	3.1
見通し	1～3月	6.2	89.0	4.8	1.4

業種別販売価格状況(平成30年10月～12月)

業種	変動	上昇 A	変わらず B	下降 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		8.5	89.6	1.9	6.6	1.9	4.8
卸売業		5.9	88.2	5.9	0.0	8.5	△2.9
小売業		11.3	84.0	4.7	6.6	6.6	3.7
サービス業		6.1	92.4	1.5	4.6	△3.0	1.5
建設業		5.3	89.4	5.3	0.0	△3.9	0.0
不動産業		0.0	87.5	12.5	△12.5	△9.1	△9.7
全体		7.4	88.3	4.3	3.1	0.9	1.4



○資金繰り

前回に比べ「楽」とした企業が 0.3 ㊦増加、「苦しい」とした企業も 0.4 ㊦増加し、D I は全体で 0.1 ㊦減少し△9.1 とほぼ横ばいであった。

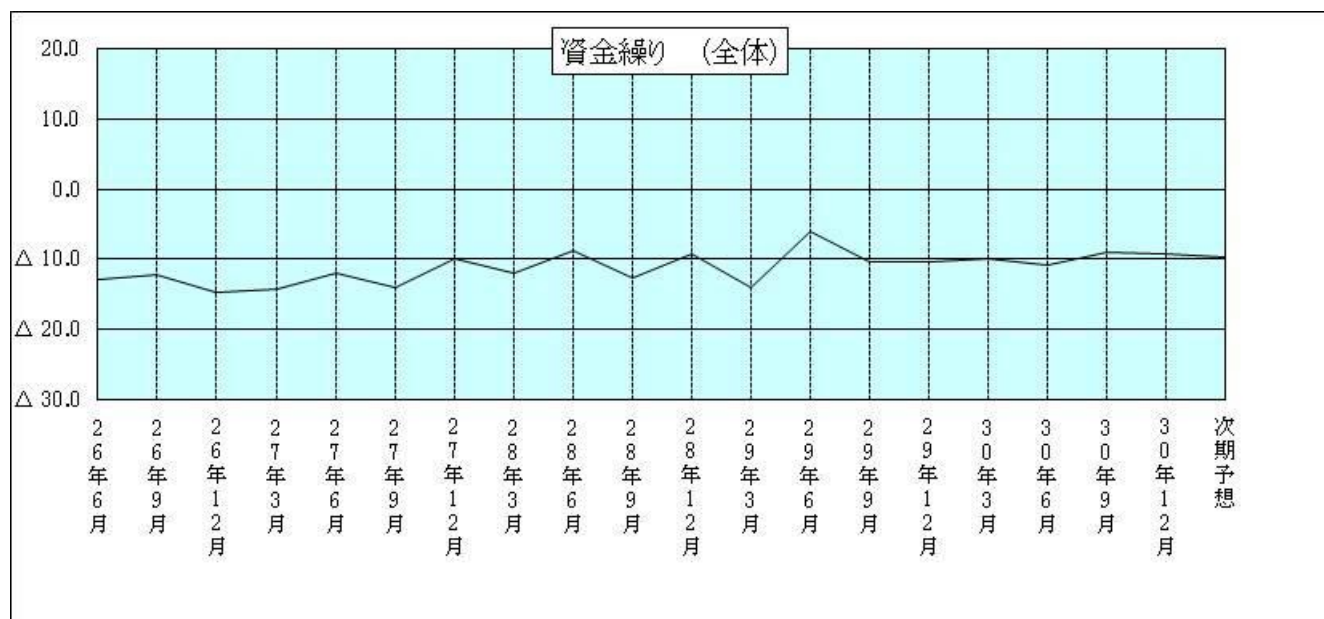
次回予想D I は 0.5 ㊦減少し△9.6 と悪化する見通しである。

資金繰り状況の推移

調査時点	変 動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	5.0	79.6	15.4	△ 10.4
平成30年	1～3月	5.7	78.7	15.6	△ 9.9
平成30年	4～6月	4.7	79.7	15.6	△ 10.9
平成30年	7～9月	6.6	77.8	15.6	△ 9.0
平成30年	10～12月	6.9	77.1	16.0	△ 9.1
見通し	1～3月	6.0	78.4	15.6	△ 9.6

業種別資金繰り状況(平成30年10月～12月)

業 種	変 動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		11.3	78.3	10.4	0.9	1.9	1.0
卸 売 業		8.8	73.6	17.6	△ 8.8	△ 14.3	△ 17.6
小 売 業		3.8	71.7	24.5	△ 20.7	△ 19.8	△ 21.7
サ ー ビ ス 業		6.0	76.1	17.9	△ 11.9	△ 10.4	△ 16.4
建 設 業		8.0	80.0	12.0	△ 4.0	△ 7.8	2.7
不 動 産 業		0.0	90.6	9.4	△ 9.4	△ 3.1	△ 9.7
全 体		6.9	77.1	16.0	△ 9.1	△ 9.0	△ 9.6



5. 雇用面の動き

○残業時間

前回に比べ「増加した」とする企業は1.9 ㊦増加、「減少した」とする企業は2.8 ㊦減少し、D Iは全体で4.7 ㊦増加し1.4と増加した。

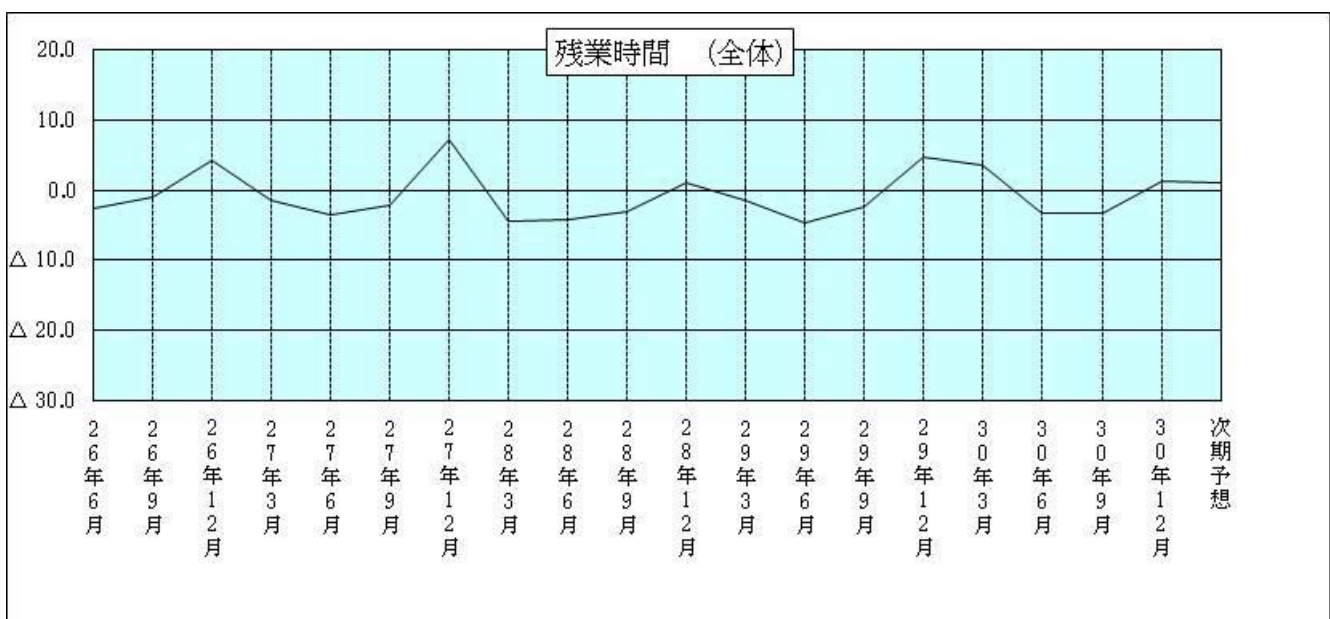
次回予想D Iは全体で0.4 ㊦減少し、1.0と減少する見通しである。

残業時間状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	11.0	82.8	6.2	4.8
平成30年	1～3月	11.1	81.4	7.5	3.6
平成30年	4～6月	5.7	85.3	9.0	△ 3.3
平成30年	7～9月	6.9	82.9	10.2	△ 3.3
平成30年	10～12月	8.8	83.8	7.4	1.4
見通し	1～3月	7.9	85.2	6.9	1.0

業種別残業時間状況(平成30年10月～12月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		10.5	80.9	8.6	1.9	△ 1.9	△ 5.6
卸売業		11.8	85.3	2.9	8.9	△ 14.3	6.1
小売業		1.9	89.6	8.5	△ 6.6	△ 8.5	△ 6.6
サービス業		5.9	85.3	8.8	△ 2.9	△ 8.9	0.0
建設業		18.7	74.6	6.7	12.0	7.8	17.4
不動産業		6.3	90.6	3.1	3.2	6.5	6.5
全体		8.8	83.8	7.4	1.4	△ 3.3	1.0



○人 手

前回と比べ、「過剰」とした企業は 1.6 ㊦減少、「不足」とする企業も 0.4 ㊦減少し、D I は全体で 1.2 ㊦減少し、△20.9 と不足した。

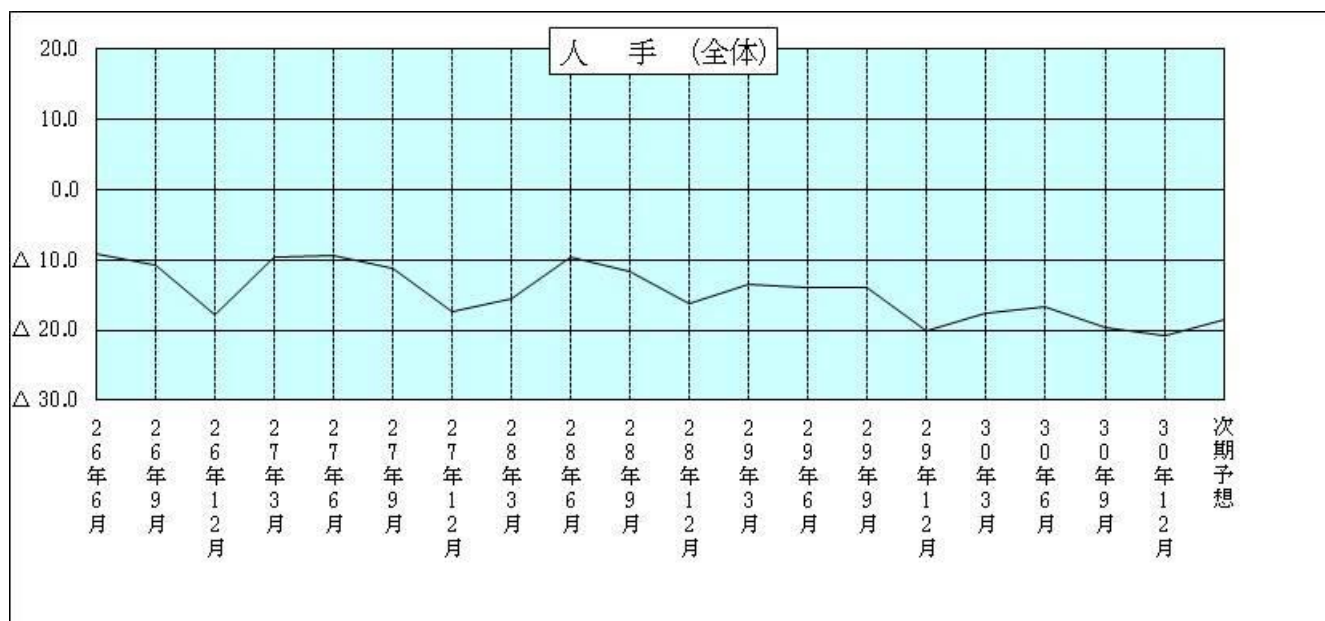
次回予想D I は全体で 2.5 ㊦増加し、△18.4 と改善する見通しである。

人 手 の 状 況 推 移

調査時点	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
平成29年	10～12月	2.9	74.1	23.0	△ 20.1
平成30年	1～3月	3.6	75.3	21.1	△ 17.5
平成30年	4～6月	2.4	78.5	19.1	△ 16.7
平成30年	7～9月	3.3	73.7	23.0	△ 19.7
平成30年	10～12月	1.7	75.7	22.6	△ 20.9
見通し	1～3月	2.2	77.2	20.6	△ 18.4

業種別人手状況(平成30年10月～12月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		2.8	68.9	28.3	△ 25.5	△ 17.9	△ 18.9
卸 売 業		0.0	88.2	11.8	△ 11.8	△ 14.2	△ 9.1
小 売 業		0.9	83.1	16.0	△ 15.1	△ 14.2	△ 10.4
サ ー ビ ス 業		2.9	76.5	20.6	△ 17.7	△ 23.9	△ 14.7
建 設 業		1.4	63.5	35.1	△ 33.7	△ 28.6	△ 39.2
不 動 産 業		0.0	87.5	12.5	△ 12.5	△ 19.4	△ 12.9
全 体		1.7	75.7	22.6	△ 20.9	△ 19.7	△ 18.4



6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点では、多くの業種で「売上の停滞・減少」と「同業者間の競争の激化」が1位、2位を占め、「人手不足」、「大型店との競争の激化」とする回答も多い。

当面の重点経営施策では、殆どの業種で「販路を広げる」、「経費を節減する」が1位、2位を占めたが、不動産業で「情報力を強化する」が1位、小売業で「宣伝・広告を強化する」が2位となった。

経営上の問題点 (複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	32.1	同業者間の競争の激化	28.3	人手不足	21.7	原材料高利幅の縮小	15.1
卸売業	売上の停滞・減少	41.2	同業者間の競争の激化	35.3	利幅の縮小	20.6	人手不足	17.6
小売業	売上の停滞・減少	49.1	大型店との競争の激化 同業者間の競争の激化	25.5			利幅の縮小 商圈人口の減少	17.9
サービス業	同業者間の競争の激化	38.2	売上の停滞・減少	29.4	商圈人口の減少	20.6	人手不足	19.1
建設業	同業者間の競争の激化	41.3	人手不足	32.0	売上の停滞・減少 材料価格の高騰	25.3		
不動産業	同業者間の競争の激化	50.0	売上の停滞・減少	40.6	商品物件の不足 利幅の縮小	18.8		

当面の重点経営施策 (複数回答 単位:%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	販路を広げる	54.7	経費を節減する	49.1	人材を確保する	24.5	新製品・技術を開発する	20.8
卸売業	販路を広げる	67.6	経費を節減する	41.2	情報力を強化する	20.6	品揃えを充実する	17.6
小売業	経費を節減する	54.7	宣伝・広告を強化する	25.5	品揃えを改善する	23.6	売れ筋商品を取り扱う	18.9
サービス業	販路を広げる	45.6	経費を節減する	42.6	情報力を強化する	26.5	教育訓練を強化する	19.1
建設業	経費を節減する	54.1	販路を広げる	43.2	技術力を高める	40.5	人材を確保する	31.1
不動産業	情報力を強化する	46.9	販路を広げる	43.8	経費を節減する	31.3	宣伝・広告を強化する	21.9

Ⅱ. 平成30年度・第4四半期の景況見通しについて

業況見通しは、不動産業、サービス業、建設業が改善見通しとなり、D Iは全体で4.1ポイント減少し、△11.9の予想である。

生産販売見通しは、サービス業を除く全ての業種が悪化する見通しとなり、D Iは全体で11.7ポイント減少し、△12.9の予想である。

収益見通しもサービス業を除く全ての業種が悪化する見通しとなり、D Iは全体で9.1ポイント減少し、△11.0の予想である。

平成30年度・第4四半期(平成31年1月～3月)の業況見通し

業種	変動			D I (A-C)	平成30年10月～12月
	良い A	普通 B	悪い C		D I
製造業	13.2	68.9	17.9	△ 4.7	10.4
卸売業	14.7	52.9	32.4	△ 17.7	△ 11.8
小売業	2.9	52.3	44.8	△ 41.9	△ 34.0
サービス業	11.9	74.7	13.4	△ 1.5	△ 8.9
建設業	18.7	70.6	10.7	8.0	6.7
不動産業	19.4	61.2	19.4	0.0	△ 9.6
全体	12.0	64.1	23.9	△ 11.9	△ 7.8

平成30年度・第4四半期(平成31年1月～3月)の生産販売見通し

業種	変動			D I (A-C)	平成30年10月～12月
	増加 A	変わらず B	減少 C		D I
製造業	11.3	67.9	20.8	△ 9.5	11.4
卸売業	14.7	50.0	35.3	△ 20.6	△ 8.9
小売業	9.4	49.1	41.5	△ 32.1	△ 17.9
サービス業	16.2	66.2	17.6	△ 1.4	△ 4.4
建設業	18.9	59.5	21.6	△ 2.7	8.0
不動産業	19.4	61.2	19.4	0.0	6.3
全体	13.8	59.5	26.7	△ 12.9	△ 1.2

平成30年度・第4四半期(平成31年1月～3月)の収益見通し

業種	変動			D I (A-C)	平成30年10月～12月
	増加 A	変わらず B	減少 C		D I
製造業	7.5	76.5	16.0	△ 8.5	7.5
卸売業	14.7	52.9	32.4	△ 17.7	△ 5.9
小売業	8.5	56.6	34.9	△ 26.4	△ 16.1
サービス業	14.7	69.1	16.2	△ 1.5	△ 4.4
建設業	14.9	68.9	16.2	△ 1.3	6.7
不動産業	19.4	58.0	22.6	△ 3.2	3.1
全体	11.7	65.6	22.7	△ 11.0	△ 1.9

問1. 貴社では、2019年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答え下さい。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 非常に良い | 5. やや悪い |
| 2. 良い | 6. 悪い |
| 3. やや良い | 7. 非常に悪い |
| 4. 普通 | |

回答No		1	2	3	4	5	6	7	合計
業種									
	製造業	0	4	21	52	23	3	1	104
	卸売業	0	2	4	23	4	1	0	34
	小売業	0	4	6	51	31	11	2	105
	サービス業	0	1	8	36	13	6	1	65
	建設業	0	1	10	43	13	6	0	73
	不動産業	0	0	2	20	7	3	0	32
合計	回答者数	0	12	51	225	91	30	4	413
	回答割合	0.0%	2.9%	12.3%	54.5%	22.0%	7.3%	1.0%	100.0%

問2. 貴社では、2019年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 非常に良い | 5. やや悪い |
| 2. 良い | 6. 悪い |
| 3. やや良い | 7. 非常に悪い |
| 4. 普通 | |

回答No		1	2	3	4	5	6	7	合計
業種									
	製造業	1	1	13	62	21	4	1	103
	卸売業	0	1	2	22	7	2	0	34
	小売業	0	0	2	53	39	10	1	105
	サービス業	0	0	6	40	19	0	0	65
	建設業	1	2	8	47	12	2	0	72
	不動産業	0	2	1	24	4	1	0	32
合計	回答者数	2	6	32	248	102	19	2	411
	回答割合	0.5%	1.5%	7.8%	60.3%	24.8%	4.6%	0.5%	100.0%

問3. 2019年において貴社の売上額の伸び率は、2018年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 30%以上の増加 | 6. 10%未満の減少 |
| 2. 20~29%の増加 | 7. 10~19%の減少 |
| 3. 10~19%の増加 | 8. 20~29%の減少 |
| 4. 10%未満の増加 | 9. 30%以上の減少 |
| 5. 変わらない | |

業種 \ 回答No		1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
製造業		0	0	7	20	55	17	3	1	1	104
卸売業		1	0	1	5	20	7	0	0	0	34
小売業		0	0	3	9	53	32	6	2	0	105
サービス業		0	0	4	8	37	14	0	0	1	64
建設業		0	1	5	13	40	9	3	1	1	73
不動産業		0	0	1	3	22	4	0	1	0	31
合計	回答者数	1	1	21	58	227	83	12	5	3	411
	回答割合	0.2%	0.2%	5.1%	14.1%	55.2%	20.2%	2.9%	1.2%	0.7%	100.0%

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. すでに上向いている | 5. 3年後 |
| 2. 6か月以内 | 6. 3年超 |
| 3. 1年後 | 7. 業況改善の見通しは立たない |
| 4. 2年後 | |

業種 \ 回答No		1	2	3	4	5	6	7	合計
製造業		25	7	10	7	11	13	30	103
卸売業		8	2	3	3	1	4	12	33
小売業		6	4	8	7	9	11	58	103
サービス業		7	2	12	5	9	9	21	65
建設業		13	4	10	6	9	6	21	69
不動産業		3	0	7	2	4	8	8	32
合計	回答者数	62	19	50	30	43	51	150	405
	回答割合	15.3%	4.7%	12.3%	7.4%	10.6%	12.6%	37.0%	100.0%

問5. 2018年は、地震や台風などの自然災害が相次いだほか、豪雪・寒波や豪雨、猛暑といった異常気象も各地で発生しました。2018年の貴社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象を1～5の中から1つ選んでお答えください。また、受けた影響について、最も当てはまるものを6～0の中から1つ選んでお答えください。

最も影響を受けた自然災害

1. 地震・噴火
2. 台風・豪雨
3. 豪雪・寒波
4. 猛暑
5. 特にない

経営に受けた影響

6. 売上・受注の減少
7. 仕入・調達・納期の遅れ
8. 店舗設備や工場等の損壊
9. 影響は受けなかった
0. 復旧需要など、むしろ好影響があった

業種	回答No						合計	回答No						合計
	1	2	3	4	5	6		7	8	9	0			
製造業	0	49	1	4	50	104	16	18	11	49	4	98		
卸売業	1	16	0	1	15	33	6	11	1	9	2	29		
小売業	0	50	2	15	37	104	24	26	4	39	5	98		
サービス業	2	23	0	4	36	65	12	8	5	33	4	62		
建設業	1	50	1	2	18	72	4	13	4	16	32	69		
不動産業	0	9	0	1	21	31	2	1	4	23	0	30		
合計	回答者数	4	197	4	27	177	409	64	77	29	169	47	386	
	回答割合	1.0%	48.2%	1.0%	6.6%	43.3%	100.0%	16.6%	19.9%	7.5%	43.8%	12.2%	100.0%	

「2019年の経営見通し」のまとめ

(景気動向調査の有効回答先から(問5は複数回答方式)調査したものです。)

1. 2019年の日本の景気をどのように見通しているかでは、「普通」が54.5%で最も多く、次いで「やや悪い」が22.0%、「やや良い」が12.3%と続いた。
「やや悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の合計が30.3%と「やや良い」、「良い」、「非常に良い」の合計15.2%を大きく上回った。
2. 2019年の自社の業況(景気)については、「普通」が60.3%で最も多く、次いで「やや悪い」が24.8%、大きく離れて「やや良い」が7.8%と続いた。
こちらも問1.と同様、「やや悪い」、「悪い」、「非常に悪い」の合計が29.9%と「やや良い」、「良い」、「非常に良い」の合計9.8%を大きく上回った。
3. 自社の2018年に比べた売上額の伸び率は、「変わらない」が55.2%で最も多く、次いで「10%未満の減少」が20.2%、「10%未満の増加」が14.1%と続いた。「30%以上の減少」を見込んでいる事業所も0.7%あった。
4. 自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が37.0%と最も多いが、「すでに上向いている」とした事業所も15.3%あった。1.～3.と回答した事業所が32.3%とほぼ1/3を占めた。
5. 最も影響を受けた自然災害は「台風・豪雨」の48.2%で、「特にない」が43.3%と続き、「猛暑」も6.6%あった。
経営に受けた影響は、「影響は受けなかった」が最も多く43.8%で、「仕入・調達・納期の遅れ」が19.9%、「売り上げ・受注の減少」が16.6%と続いた。反面、「復旧需要など、むしろ好影響があった」とした事業所も建設業を中心に12.2%あった。